

半数 入浴週2回以下

生活保護の実態調査

県民主医療機関連合会

県民主医療機関連合会は13日、生活保護を受けている福井市内の19世帯28人への聞き取り調査結果を発表した。

生活費を切り詰めるため、入浴回数を週2回以下に抑えていると答えた人が15人、衣服や靴の購入を年1回以下にしていると答えた人が5人いた。一つの弁当を昼と夕に分けて食べる人もいた。60歳以上が20人で、このうち年金受給者は4人、要介護認定者が11人。13世帯が生活保護だけで暮らしていると答えたという。民医連は「憲法が掲げる健康で文化的な生活とは言い難い」と指摘。国会で生活保護費を引き下げる議論が進んでいることを批判

した。

県地域福祉課によると、県内の生活保護受給者は3月末時点で3932人。雇用状況の悪化で、前年同期より295人増えたという。

(小堀龍之)